

日本鐵鋼協會記事

理事會 (昭和 12 年第 9 回)

開會期日 昭和12年12月8日(水)午後5時開會 同7時閉會

出席者

會長 水谷叔彦
理事 吉川晴十 松下長久
前會長 俵 國一 鹽田泰介
常務委員 山田良之助 鹽澤正一

出席者

會長 水谷會長 吉川理事
委員 五百旗頭啓 田中清治 山田良之助 鹽澤正一
廣瀬政次

協議事項

- 評議員會開催期日の件
(決定) 昭和 13 年 2 月 23 日(水)午後
- 第 19 回大會に於ける見學工場選定の件
(決定) 埼玉縣川口市方面とす
- 入退者及び會員異動(自 11 月 9 日至 12 月 7 日)

會員異動總計表(入退會者は承認數)

	名譽會員	維持會員	贊助會員	正會員	准會員	計
新入會者數	—	—	—	2	16	18
轉格者數	—	—	—	+5	-5	0
退會者數	—	—	—	4	1	5
死亡者數	—	—	—	1	1	2
現在會員數	17	45	16	1,056	1,225	2,359
前月と比較	異動なし	異動なし	異動なし	+2	+9	+11

退會者氏名

正會員 佐藤 俊一 梅地 連造 佐渡佐太郎 飯尾達次郎
准會員 村井 勝

報告事項

- 昭和 12 年 11 月分收支報告
- 第 18 回講演大會收支報告
- 電氣通信學會主催 11 月 24 日於海上ビル中央停開催 國産化第三回聯合懇談會に吉川理事出席其の狀況報告(吉川理事)
- 鐵鋼報國會技術部長廣瀬亞夫氏 11 月 30 日來談の要旨
- 野田文庫に關する其後の經過報告
- 第 23 回通常總會及第 19 回講演大會並研究部會々場の件
決定 神田區駿河臺鈴木町 12 日本醫師會々館
- 萬年會寄附工業獎勵資金は 11 月 25 日日本工學會評議員會に於て熔接協會に交付決定の通知

編輯委員會 (昭和 12 年度第 9 回)

開會期日 昭和12年11月24日(水)午後5時開會午後8時閉會

協議事項

- 鐵と鋼第 24 年第 1 號上掲論文原稿選定

決定原稿

- (1) 熔滓及び熔銑の化學成分が脱硫作用に及ぼす影響
藤井 寛 谷口 悟
- (2) 鋼の熱脆性に及ぼす熱處理及び成分の影響
萩原 巖
- (3) 鑄鋼用生型砂配合に對する基礎理論に就て
吉田 正夫
- (4) マグネシウム-カドミウム系を基礎とする多元
素合金の研究 大日方 一司 林 茂壽

- 鐵と鋼第 23 年第 12 號上掲抄録原稿決定

(決定) 17 頁

- 第 19 回大會見學工場選定

第 1 案 埼玉縣川口市方面
第 2 案 神奈川縣川崎市方面
以上理事會へ掲出のこと

- 大會實行委員分擔の件

(決定) 例年通り

- 鐵鋼要覽編纂に關する件

獨逸國セントラル アルミニウム會社へ鐵と鋼の抜刷寄贈

以上の會社より本會々誌「鐵と鋼」第 21 年 8 號 第 22 年 9 號へ上掲の「銅珪素アルミニウム合金の平衡狀態圖 久恒中陽氏寄稿」(Constitutional Diagram of Copper-Silicon-Aluminium System (I) (II)) の論說懇望來信に對し幸ひ其抜刷の殘本ありたる故寄贈せり

時局應召者

准會員 栗山 俊治君 谷本 威君 山地 俊勝君
吉田 直文君 吉野 政次君 山本 都治君

准會員より正會員へ轉格者氏名

森 三郎君 山之内諒博君 蜂谷 茂雄君 名黒 和孝君
江上 一郎君

新入會者氏名 (自 11 月 9 日至 12 月 7 日)

住所又は宛名先	勤務先又は職業	會員別	新入會者氏名	紹介者
日本橋區江戸橋三ノ五 (電日本橋四四六一)	東邦製鋼所社長	正(終)	相 川 道 之 助君	中 藤 井 山 壽 半八助郎
大森區桐里町一一一(電池上二五七)	日本内燃機株式會社 常務取締役	正	蒔 田 鐵 司君	山 田 良 之 助 郎
杉並區東田町二ノ一九六	東京帝大工・治學生	准	竹 入 信君	村 松 橋 太 郎
八幡市高見町五丁目六五	日鐵八幡製鐵所技師	"	小 池 勝 安君	田 中 清 治
朝鮮清津府浦項洞七八	西田鐵工所	"	西 田 彦 太 郎君	平 田 實
				村 松 橋 太 郎

鳥取縣西伯郡天津村	米子製鋼所分析係	准	前 田 哲 夫君	吉 田 正 夫
澁谷區穩田三ノ七五 安井淳之助方	早大理工 探冶 學生	"	河 合 正君	鹽 澤 正 一
牛込區辨天町七	東京帝大 工 學生	"	内 田 政 雄君	田 中 清 治
目黒區大岡山 東京工業大學機械工學科 教室		"	高 島 要君	山 田 良 之 助
神戸市須磨區大手町五ノ二〇	神戸製鋼所壓鍊工場	"	青 木 幹 雄君	三 戸 美 作
滿洲鞍山南八條町一七 住友日新寮	滿洲住友鋼管製造部 作業課	"	島 武 光君	吉 田 幸 吉
澁谷區鶯谷町四三 村野方	早大 探冶 學生	"	本 郷 宏 平君	前 田 六 郎
城東區南砂町九ノ二四五〇	"	"	丹 野 英 郎君	"
八幡市松坂町一丁目 立石方	日鐵八幡製鐵所製鋼部	"	大 脇 武 雄君	金 森 九 郎
大阪市大正區南恩加島町六 日本製鐵會 社大阪製鐵所		"	小 田 拓 助君	佐 野 半 兵 衛
橫濱市鶴見區安善町一ノ二 中山鋼業株 式會社		"	花 田 靜 雄君	中 山 半
"		"	平 松 傳君	"
大連市芙蓉町一三〇ノ一ノ二	撫順炭礦大連出張所	"	龜 岡 勇 治君	名 黒 和 孝

死 亡 者

本會正會員 茂木 茂君 去る 11 月 5 日逝去せられたるは洵に痛惜の至りなり茲に謹んで弔意を表す

埋 草

鐵鋼協議會改組方針 鐵鋼事業擴充の國策線に沿ひ鐵鋼協議會では同會の擴大強化をはかるべく 15 日日鐵會議室に總會を開催
中井勵作 澁澤正雄(日本製鐵) 白石元治郎 今泉嘉一郎 渡邊政人(日本鋼管) 清岡榮之助(吾嬭製鋼) 大村正篤(鶴見製鐵) 稻井勳造(住友金屬工業) 池田利喜藏(中山製鋼) 高石義雄(大阪製鋼) 植松良一(大和製鋼) 井上長太夫(尼崎製鋼) 淺田長平(神戸製鋼) 川崎芳熊(川崎造船) 末兼要 大和金太郎(小倉製鋼) 大橋不二雄(東海鋼業) 大崎新吉(大倉鑛業) 此諸氏參集協議の結果 協議會を次の如く改組することに方針決定これが具體案の作成を理事會に委任することとした 理事會は 21 日開催の豫定である
強化方針＝鐵鋼界の最高機關として現前の時勢に適合し積極的に活躍し得る如き機關に協議會を改組すること(中外商業 12 月 16 日)
商工省の地方工業化 商工省では資源開發及び地方工業振興のため豫て未開發資源の活用による地方特殊工業の確立に關する調査を

進めてゐたが この程各地方廳よりの報告が纏まつたので 15 日本省に地方工業化委員會を開き未開發未利用資源の活用に關する今後の方針として次の如き申合せをなした 即ち今般商工省に到達した各地方廳よりの調査報告を大略的に分類すれば
1 全然未開發のもの
2 開發の途上にあるが資本その他の關係より經營の不充分なるもの
3 戰時輸入制限のため資源の必要を痛感して居るもの
の 3 項に分けることが出来るが商工省はこのそれぞれの場合に應じて應急 恒久的な對策を樹立する必要がある 而して此調査報告は極めて概括的なものであるから更に各地方廳における地方工業化委員會に實情調査に基く詳細なる報告の作成を求めその出揃ふを待つて來年早々委員會を開き具體的方針の樹立をはかる(中央商業 12 月 16 日)